

団体名：笑顔の絵本プロジェクト
事業名：笑顔の絵本プロジェクト

様式第2（第8条関係）

事業計画書

No. 1

（つつじ補助金・くすのき補助金）

①事業の区分 (該当する事業にチェック)	(1)保健、医療又は福祉の増進を図る事業	☒	(11)国際協力を行う事業	☐
	(2)社会教育の推進を図る事業	☒	(12)男女共同参画社会の形成の促進を図	☐
	(3)まちづくりの推進を図る事業	☒	(13)子どもの健全育成を図る事	☒
	(4)観光の振興を図る事業	☐	(14)情報化社会の発展を図る事	☒
	(5)農山漁村又は中山間地域の振興を図る事業	☐	(15)科学技術の振興を図る事業	☐
	(6)学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業	☒	(16)経済活動の活性化を図る事	☐
	(7)環境の保全を図る事業	☒	(17)職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を	☐
	(8)災害救援事業	☐	(18)消費者の保護を図る事業	☐
	(9)地域安全事業	☐	(19)公益増進事業活動の遂行又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事	☐
	(10)人権の擁護又は平和の推進を図る事業	☐	(20)前各号に掲げる事業に準ずる活動として委嘱の制で定め	☐
②現状把握・分析・事業目的	(事業実施の理由、地域課題の解決につながる事業の目的) 豊橋市内に家庭には沢山の絵本や児童書が眠っています。これを回収し子ども達に配布することでものを大切にするを市民の方に理解していただけます。 また、絵本などは高価で貧困家庭では購入が難しく、時間がないため図書館などの利用も出来づらい子育て家庭に絵本や児童書などが無料で届くことができる。 読んだ本はまた、リサイクルされ活用されるという意識を育てていきたい。			
③事業内容（詳細）	豊橋市内に回収場所を何箇所か設け絵本などの回収を行っています。 また、集められた絵本などを障がい者の就労支援施設にてクリーニングを行いイベント会場などや子ども食堂などで配布を行ってきましたがまだまだ認知されていないのが現状です。そのため、現在の活動を進めながら秋に絵本リサイクルイベントを行いより一層の認知を高め活動の輪を広げていきたいと思ひます。			
④スケジュール	事業期間	(事業着手日) 令和8年 5月 1日から (事業終了日) 令和9年3月1日まで		
	実施日	内容	会場	参加者数見込
	6月	チラシの内容などの打ち合わせ	団体事務所	3人
	8月	イベント内容の打ち合わせ	団体事務所	3人
	9月	イベント準備	団体事務所	5人
10月	イベントの開催	カリオンビル	600人	
⑤周知方法・周知先	地区市民館や市民センターに配布。ホームページやSNSでの告知。また、イベント会場などで手配りなど			
⑥実施体制	(実施メンバー) 運営メンバ 3人、ボランティア2人 外部協力団体			

様式第2（第8条関係）

事業計画書

No. 2

（つつじ補助金・くすのき補助金）

⑦事業が公共の利益に 由及ぶ事業実施によ る市民（地域）への 波及効果 公益性・実効性	社会は環境問題に取り組んでいます。絵本は豊橋市内の家庭に眠ってい て、いずれは捨てられてしまうかもしれない運命にあります。絵本をリサ イクルする事で環境問題にも貢献でき、障がい者施設に工賃を支払いク リーニングすることで就労支援施設にも寄与しています。 また、絵本は金額も高く購入するのにハードルが高くなっているのが現状 で、子ども達が気軽に絵本を手にする事が出来るようになり情操教育にも 貢献できます。
⑧この事業実施後の今 後の活動について 継続性	引き続き、絵本の回収拠点を増やしていき、常時絵本の配布ができる場所 を確保しながらリサイクル絵本というSDGsにも貢献できる取組を豊橋に根 付かせていく事。

（くすのき補助金）

⑨事業の創造的又は 開拓的部分 先駆性	今後、私どもだけではなく活動が認知され、広がることで多くの市民の輪が 広がり絵本のリブックが当たり前になる社会が創造できること。 絵本や児童書を無料で配布することは子育て支援の一環として捉えられ、豊 橋市でも先駆的な事業です。
⑩事業で団体の持つ 専門性が生かされて いる部分 専門性	こども食堂を5年にわたり続けてきたことが子育て支援のあり方や新しい切り 口のノウハウを身につく事ができました。 また、2年余り続けてきた事で絵本の持つ特性も理解が進み、手にする子供の 年代層別に配布も心がられる様になりました。

備考 内容の記載は簡潔をお願いします。なお、必要に応じて各項目の枠を広げて使用できます。